

第2回 横浜市戸塚スポーツセンター指定管理者選定委員会議事録

日 時	令和3年7月29日（木）13時30分から15時45分まで
開催場所	戸塚区役所9階 特別会議室
出席者	川邊委員長、市川委員、栗田委員、田中委員、中嶋委員 区) 地域振興課長 岩崎、 区民利用施設担当係長 情野、田中、鈴木、青木
欠席者	なし
開催形態	公開（傍聴者10人） 審議については、非公開
議 題	1 定足数の確認 2 申請団体によるプレゼンテーション及び質疑応答 3 審議
決定事項	1 定足数の確認 委員全員が出席のため、委員会は成立 2 横浜市戸塚スポーツセンター指定管理者の候補者について 応募団体（2団体）の評点について、最低基準の6割を超えたことを確認し、指定候補者を「公益財団法人横浜市スポーツ協会」、次点候補者を「株式会社東急スポーツオアシス」として区長に報告する。
質疑応答	「株式会社東急スポーツオアシス」によるプレゼンテーション10分を実施 <b>【質疑応答】</b> 委員) 施設運営において、他施設や地域と連携することは重要であるが、これまで貴団体が他の地域で公共施設を運営される際に、この点について苦労されたことはあるか。 団体) 比較的スムーズに連携できていた印象がある。連携に関して積極的でない地域もあったが、声かけを行うことで、最終的には快く受け入れてくれたため、苦労した経験はない。 委員) 提案書では、スポーツに関心のある方に向けた魅力的な取組を記載しているが、公共施設として、普段スポーツにつながりが薄い方へどのようにアプローチしていくつもりか教えてほしい。 団体) 当団体では、季節に合った子ども向けのイベントを実施しており、これをきっかけに、子どもたちだけでなく保護者の方々にも施設へ足を運んでもらい、幅広くスポーツに興味を持ってもらいたいと考えている。スポーツを始めるにあたり、親しみやすいウォーキングやランニングの事業に力を入れており、施設内だけでなく屋外でのプログラムも考えている。また、他の区民利用施設に出向き、その施設を利用されている方にも体験してもらえる内容も実施したい。 委員) 自主事業によって利益が出ることを見込んでいるようだが、この利益分は施設運営の面でどのように還元するつもりなのか。 団体) 基本的に利益分については安全安心な利用のために活用するものと考えているので、予算以上の利益が生じた場合には、施設内備品の強化や更新

という形で還元する。

委員) 新型コロナウイルス感染症の影響により減少した利用者数の回復が大きなテーマと感じたが、“afterコロナ”の対応として、今後の展望を具体的に教えてほしい。

団体) この状況が続いていくことを前提に、感染症対策を徹底した上で、教室事業等の定員を通常どおりに戻すことを目指している。また、外出機会が減少している働き世代や高齢者の方々を対象に、安心感を持って施設に足を運んでもらえる工夫を検討するとともに、ウェブコンテンツを活用した運動メニューを提供することで、体を動かせる環境を自由に広げていきたいと考える。

「公益財団法人横浜市スポーツ協会」によるプレゼンテーション10分を実施

#### 【質疑応答】

委員) 次期指定管理期間の最終年度には、“コロナ禍”以前の利用者数を上回ることを目標にしているが、限られたスペースの中でどのように利用者を増やしていくのか。

団体) 教室事業における集客率を向上させる工夫を検討するとともに、施設外で行う事業にも積極的に取り組みたいと考える。

委員) スポーツだけでなく、ヘルスケアに関する取組も提案されているが、このプログラムの料金設定はどのように考えているのか。また、内容はどのようなものか。

団体) 実施内容にもよるが、公共施設として、多くの方が利用しやすいと感じる料金設定を模索したい。内容は、スポーツ医科学センターと連携し、専門的な知見に基づく運動療法を普及するものであり、膝や腰の痛みの予防や心臓リハビリテーション等につなげていきたいと考えている。

委員) 他施設との連携に関して、地域向けの「賑わいづくりチラシ」を協働して作成するとの提案があるが、これは具体的にどのようなものか。

団体) 区内に多数ある区民利用施設において、それぞれ様々なイベントを行っているため、それらを集約したチラシを連携して作成し、配布することを考えている。この取組によって区民がイベント情報を把握しやすくなり、気軽に足を運んでもらえると考ええる。

委員) 新規事業として「サブスクリプションサービス」が提案されているが、これにより一般の方の利用枠が圧迫される懸念もある。公共施設としての特性を踏まえ、どのように運用するのか。

団体) 本事業は、利用者に継続的な運動を促す目的で新たに検討しているもの。特定の方の利用が増えることも想定されるが、利用者のニーズや全体のバランスをしっかりと見極め、調整しながら運用していきたい。

委員) かかりつけ医と連携する形で、運動療法による健康づくりを促進する事業も検討しているようだが、これまでの実績やどのような医療機関との連携を想定するのか教えてほしい。

	<p>団体) 新型コロナウイルス感染症の影響もあり、実績はまだありませんが、無料のスポーツ医事相談を開催している。戸塚区内や近隣区の医療機関に協力を得ながら、区民の方が医師によるレクチャーを直接受けられる場を提供している。</p>
特記事項	